

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 令和 2 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	病児保育事業の類型：病後児保育事業 児童が病気の回復期にあるために集団での保育が困難な期間について、専用施設において一時的にその児童を預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を図る。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
女性の就労の支援や、児童が病気の際、保育する人がいない家庭が増加している。 保育所へ預けている場合でも体調が悪くなった場合、共働き等ですぐには迎えに来られない家庭も増えている。	H25年のニーズ調査では、就学前児童をもつ保護者で児童の看護のため仕事を休んだことのある保護者のうち、利用したいと回答した保護者は32.8%、利用したいと思わないと回答した保護者は66.7%であった。	利用したいと思わないと回答した保護者の意見として「他人に看てもらうのは不安」56.4%、「親が仕事を休んで対応」が53%となっている。

① 事業費の詳細(2年度の決算)			単位:千円
1.人件費	2,294	会計年度任用職員給与	
2.その他	233	需用費・備品購入費など	
② 特定財源の内訳(2年度の決算)			単位:千円
1.国庫支出金	1,264	子ども・子育て支援交付金	
都道府県支出金	1,263	千葉県子ども・子育て支援補助金	
3.地方債			
4.その他			

事業費	費目内訳	単位	29年度 (決算)	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (予算)
		1. 人件費	千円			2,294	3,696
		2. その他	千円			233	124
			千円				
			千円				
			千円				
	事業費計 (A)		千円			2,527	3,820
	財源	1. 国庫支出金	千円			1,264	1,260
		2. 都道府県支出金	千円			1,263	1,260
		3. 地方債	千円				
		4. その他	千円				40
		5. 一般財源	千円				1,260

前年度 増減理由	新規事業のため
-------------	---------

従事職員数	常時	2	人	最大		人	×		日	=	延べ		人
-------	----	---	---	----	--	---	---	--	---	---	----	--	---

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動)			ア	実施箇所数(公設公営)	施設				1	1
	海上保育所において、5月から病後児保育事業を開始した。										
				イ							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
	対象意図	病児保育事業の対象となる児童を養育する保護者 安心して働くことができる		ア	利用者が希望する時に病後児保育を利用できた割合(希望者がいない時は100%と算出する)	%				100.0	100.0
	対象意図										
				イ							

①成果優先度評価結果			②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
施策貢献度	大きい				①		
	普通			⑦	②		
	小さい				③		
評価結果					④⑤		
					⑥		
					⑦⑧	(7)	
					⑨		

Category	Percentage (%)
H29	0.0
H30	0.0
R1	0.0
R2	100.0
R3計画	100.0

評価内容	① 進捗状況		☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難											
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)		5月に事業を開始し、11ヶ月間事業を実施したが、その間の利用者が0であったため。											
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較 成果 動向	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3計画
	成果指標イ		数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	0.0	0.0		0.0	100.0	0.0		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		新規事業のため、比較できない。							イ				
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の 方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()							
			引き続き、事業を実施していく 利用者が増えない状況を分析する				引き続き、事業を実施していく							